

（1）事故を未然に防ぐための注意事項

① 加熱器具の取り扱い（カセットコンロ等）

- ・カセットコンロを使う際は周囲に燃えやすいものがないか必ず確認し、教科書等は机の下に置くようにする。火が頭髮や衣服に燃え移らないよう、長い頭髮は結んだり、ゆったりした衣服は脱いだり整えたりするなど十分注意する。
- ・熱くなっているものは冷めてから扱うようにする。

加熱実験時

② 劇薬類の取り扱い

- ・仕様書に従い、取り扱いに注意する。・・・事故による傷害の程度が重い

酸・アルカリ性水溶液

③ ガラス器具の取り扱い（フラスコ、ビーカー、試験管ガラス管 等）

- ・爆発性の気体発生時・・・発生量、火気
- ・化学反応時・・・反応確認の方法指導
- ・耐熱ガラスと耐熱ガラス以外の容器の確認

水素発生時（6年、水溶液）

顔の位置、持ち方

④ 実験中の指導

- ・実験の注意を教室に目立つように掲示し、授業の始まりに確実に指導
- ・実験中の教師の立ち位置・・・全体を見渡す。

キズの有無

役割分担、協力、安全確認、実験中の姿勢、準備物等

（2）保管、廃棄に関する注意事項

① 保管

- ・薬品使用記録（使用年月日、使用目的、使用料 等）と定期点検
- ・適正な保管（施錠と鍵の保管）
- ・適正な表示（「医療用外」「毒物」「劇物」 等）
- ・耐震措置
- ・理科準備室の「関係者以外立ち入り禁止」措置

② 廃棄

- ・廃液の適切な処理・・・酸・アルカリ溶液は中和処理をし、流水とともに流す。多量の金属イオンは沈殿を作り不要薬品の回収に出す。
- ・不要薬品の適切な廃棄・・・市教委の不要薬品の回収に出す。

整頓

確認

点検